

こどもタウンミーティング「未来のまちをデザインしよう！わたしたちのまちづくり会議」

日時：令和7年8月3日（日）13時～

場所：ふれあい文化館 多目的室

【1班】

住みたいまちのビジョン①

こどもたちが元気に遊びのびのび育つ地域【6】

現状のまちについて対話する

YES	賑わいで活気がある町だと思う
YES	子どもが元気に遊べている地域だと思う
YES	心が安らぐ場や機会があると感じている人が多い

ビジョンに向けたまちづくりの提案

交流の場の創出（特に10～20代向け）
公園に遊具を増やしたりする
公共の体育館を作る（松山下公園のような）
松山下公園とかの公共施設を子どもが利用するとき、予約システムとかのハードルを低くしてくれると市民が使いやすい。
印西市内での地域格差を無くす

住みたいまちのビジョン②

こどもから高齢者までが幸せで豊かな生活が送れる地域【5】

現状のまちについて対話する

YES	幸せだと感じている人が多いと思う
YES	こころや体が健康だと感じている人が多いと思う
NO	高齢者や障害者にとっても暮らしやすいまちだと思う

ビジョンに向けたまちづくりの提案

車がなくてもストレスが無いまち。バス・タクシー・ライドシェアなど
田舎の地域もアクセスをよくする
高齢者や障がい者が車が無くても生活しやすいまちづくり。公共交通機関の向上、移動販売など
田舎の地域からニュータウンへのアクセスを良くし、繋がりを良くする
運動できる場を増やす
学校の体育館やトイレにエアコンを設置
便利さも必要だけど、健康の面でも良いと思えるまちにする。こどもも高齢者も安心・安全に利用できる散歩コースを作るなど

住みたいまちのビジョン③

地域の住民が主体性を持って地域の活動やまちづくりに参加し合う地域【3】

現状のまちについて対話する

NO	行政の様々な取り組みに何らかの形で参画している人が多いと思う
NO	住んでいる地域に関心がある人が多いと思う
NO	行政と住民の間で情報共有をしながら地域の課題解決に取り組んでいると思う

ビジョンに向けたまちづくりの提案

市で大きなイベントを開催する。祭りなど。その際に行政からの情報共有などできる
祭りなど楽しいイベントが多くあると市民が気軽に参加できる
情報発信の強化、SNSの活用、市独自のアプリの導入
広報や掲示板、SNSなどを上手く活用して、お祭りやイベントがあることを知ってもらう
チラシやホームページの量を多くする
若い層を取り入れたいから学校などと連携したイベントを行う